

高性能林業機械導入による労働環境の改善と作業の効率化

1. 林業事業体等名 有限会社 寿園 (岡山県真庭市)
2. 林業事業体の概要
- ①年間素材生産量 5,200 m³ (うち 間伐の占める割合 80%)
- ②生産する主な樹種 スギ、ヒノキ
- ③素材生産に関わる作業員数 7名 (1セット4 (3) 名 × 2セット)

3. 取組の特長

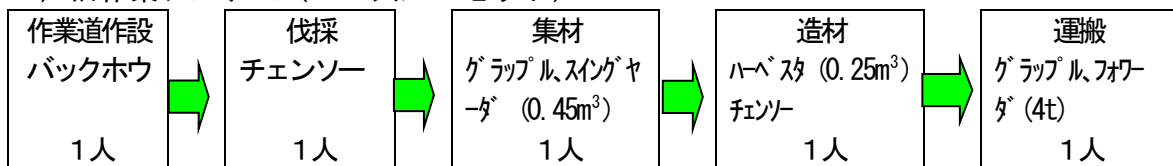
- ・同社は、製茶の生産をしながら林業を営む会社で、地域の森林所有者の意向をきめ細かく聞き、利用間伐を中心とし、伐期を迎えた森林の整備に取り組んでいる。昭和5年に、社長の祖父が機械化による製茶加工を始め、茶葉の乾燥に多くの木材を燃料として伐出しており、そうした経験をもとに機械化を進め、平成3年頃、本格的に素材生産を開始した。
- ・平成27年度に森林整備加速化・林業再生事業でウインチ付きグラップル(0.25 m³)と運材車(4t)を導入、平成30年度に林業・木材産業成長産業化促進対策交付金事業によりリース支援を受け、ウインチ付きグラップル(0.25 m³)とハーベスタ(0.45 m³)を導入する等により機械化を積極的に進め、素材生産量・労働生産性の向上に努めている。
- ・「緑の雇用」事業を活用し、新規就業者の育成に努めている。

4. 具体的な内容

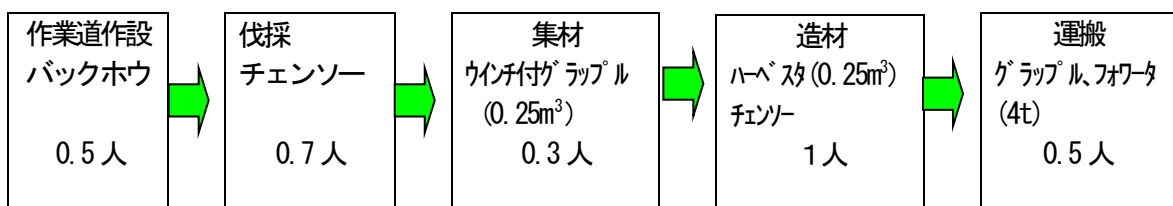
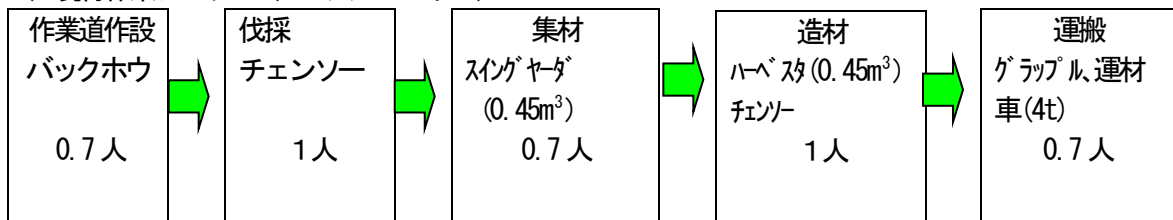
- ①施業方法：高性能林業機械を活用した作業効率の向上
- ②使用機械：スイングヤーダ1台(0.45m³)、ハーベスタ2台(0.25m³、0.45m³)、グラップル2台、ウインチ付きグラップル1台(0.25m³)、フォワーダ1台(4t)、運材車(4t)

③作業システム：

1) 旧作業システム (5人 / 1セット)



2) 現行作業システム (7人 / 2セット)



④労働生産性及び素材生産コスト：

利用間伐	旧作業システム		新作業システム	
	労働生産性 (m ³ /人・日)	素材生産コスト (円/m ³)	労働生産性 (m ³ /人・日)	素材生産コスト (円/m ³)
	4.4	9,500	5.5	7,000

- ・新作業システムにより、労働生産性が約 25%向上し、素材生産コストが約 26%削減された。

5. 今後の取組等

- ・高性能林業機械の老朽化が進みつつあるため、現行の作業システムの作業効率の維持・向上と安全性確保のため、林業機械の新規導入を検討している。
- ・新規就業者の林業機械の資格習得を進めるとともに、現場の作業技術の向上を図る。
- ・「緑の雇用」事業等各種制度を活用し、新規就業者の育成に努める。



【問い合わせ先】

所属：岡山県 美作県民局農林水産事業部 真庭地域森林課

役職・氏名：総括副参事 難波武博

連絡先：0867-44-7566